令和７年度第１回弘前市まちづくり１％システム審査委員会
会議録概要（１日目）

日　時：令和７年６月１２日（木）
午後６時～８時
場　所：市役所市民防災館３階　防災会議室

１　出席者

審査委員　土井委員長、大倉委員、安田委員、相馬委員、小山内委員、伊藤委員、佐藤（信）委員、神委員、三村委員、佐藤（綾）委員、工藤委員、一條委員、山木委員

事務局　土岐課長、山﨑課長補佐、佐藤主幹兼協働推進係長、田中主幹兼市民生活係長、工藤主査、佐々木主事、吉田主事、山内主事

２　審査方法

（１）一般部門

１事業ごとに申請書類及び公開プレゼンテーションの内容を踏まえ、審査を実施。審査委員は、審査項目をもとに１人 100 点満点（10 項目×10 点）で採点を行う。審査委員が申請書を提出した団体に所属する場合は、審査から外れるものとする。

【補助金の交付決定を受けた回数が０～２回】
採択 …次のすべてを満たすもの
①出席委員の合計の平均点が６０点以上
②出席委員の各審査項目の平均点が３点以上

【補助金の交付決定を受けた回数が３回以上】
採択 …次のすべてを満たすもの
①出席委員の合計の平均点が６０点以上
②出席委員の「公益性」、「将来性」、「費用の妥当性」の審査項目の平均点が６点以上
③出席委員の「必要性」、「実現性」の審査項目の平均点が３点以上

（２）スタート部門

１事業ごとに申請書類の内容を踏まえ、審査を実施。審査委員は、審査項目をもとに事業の適否を判断する。審査委員が申請書を提出した団体に所属する場合は、審査から外れるものとする。

３　審査結果

・一般部門　　１６事業中　５事業

採択事業　　５事業

不採択事業　　０事業

・スタート部門　　１事業中　０事業

採択事業　　０事業

不採択事業　　０事業

《審査内容》
一般部門

事業番号	7	審査区分	交付決定回数０～２回の事業
事 業 名	不登校の子に関わる保護者、学校関係者、その他へ向けた講演会の開催		
団 体 名	不登校を支える親の会		

【主な意見】
・今回オンライン開催がないのであれば、講演会の内容を後々にでも発信し、なるべく多く周知していただきたい。来年度以降は、講演会の場に行くことができないという方もいるのでオンライン開催も考えていただきたいと思う。
・講演会やワークショップで保護者の繋がりが出来てきたと思うので、今後、講演会を開催することと並行して繋がりをさらに豊かにする取り組みや工夫を期待したいと思う。

【審査結果】
合計点　81.2 点 ≧60.0 点 ， 各項目の平均点≧3 点　⇒採択（申請額どおり）

審 査 項 目		評価（平均点）
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.0
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.3
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.5
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.3
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	7.7
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.8
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.8
合　　計		81.2

《審査内容》
一般部門

事業番号	８	審査区分	交付決定回数０～２回の事業
事 業 名	子どもの教育環境向上プロジェクト		
団 体 名	Ｅ.らぼ		

【主な意見】
・目的達成のために試行錯誤しながらとにかく頑張ってやってみよう、仲間を増やしていこうという段階だとは思うが、「子どもの自己肯定感を高める」という目的が遠いので、今回の事業ではどこまで到達したいのか、次はどこまで目指すのかといった中長期の計画と併せて示していただけると、事業の内容が審査委員にも伝わりやすくなると思うので、工夫していただきたい。
・「子どもの自己肯定感を高める」という目的は、事業を繰り返し実施し、継続していった末に達成できるものだと思うので、イベントを実施するだけではなく、学びのコミュニティのようなものを運営し、同じ考えを持つ方を育てていくような環境を同時に構築するなど、積み重なっていくような活動を展開していただきたい。

【審査結果】
合計点　62.6 点 ≧60.0 点 ， 各項目の平均点≧3 点　⇒採択（申請額どおり）

審 査 項 目		評価（平均点）
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.5
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	6.6
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.6
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	5.7
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	6.6
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	6.3
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	5.8
合　　計		62.6

《審査内容》
一般部門

事業番号	５	審査区分	交付決定回数０～２回の事業
事 業 名	みんなでテニス		
団 体 名	弘前市テニス協会		

【主な意見】
・前回の反省点と向き合い、そこに対してどのような対策をとっていくのかという姿勢が見られたことが素敵だと思う。この取り組みを繰り返していくことで、たくさんの方々に参加してもらえる事業になっていくと思うので、今後にも期待している。
・競技者の裾野を広げていくという取り組みはすごく重要なことだと思うので、団体で実施している教室を丁寧に紹介するなど、参加者が継続して競技を続けられるような取り組みを地道に進めていただきたい。

【審査結果】
合計点　74.9 点 ≧60.0 点 ， 各項目の平均点≧3 点　⇒採択（申請額どおり）

審 査 項 目		評価（平均点）
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.1
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.2
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.1
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.7
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.8
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	8.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.8
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.7
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.2
合　　計		74.9

《審査内容》
一般部門

事業番号	２	審査区分	交付決定回数３回以上の事業
事 業 名	みんなのウォークラリー大会　～歴史的建築物が残る城下町ひろさきの小道を歩いて巡ってみよう		
団 体 名	特定非営利活動法人ひろさきレクリエーション協会		

【主な意見】
・下町地区は弘前に長年住んでいる方であっても訪れる機会が少ないと感じているので、今回の企画は弘前を知っていただくための良い企画であると思う。
・弘前城の北側を元気にしようという目的を持った団体が立ち上がったという新聞記事を読んだが、そういった団体とコースやチェックポイントの設定をしたり、スタッフとして手伝ってもらうなど一緒に活動することで活動に広がりが出ると思う。
・町名の読み方が分からない子どもたちが多い中で、それぞれの町名が書かれている柱をポイントとして探しながら歩くというのが非常に良い企画だなと思う。

【審査結果】
合計点　78.0 点 ≧60.0 点 ，【必要性】【実現性】の各項目の平均点≧3 点 ，
【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≧6 点 ⇒採択（申請額どおり）

審 査 項 目		評価（平均点）
公益性	①　事業の効果が特定の者に限定されない	7.5
	②　社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.8
必要性	③　地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.5
	④　地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.2
実現性	⑤　事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.0
	⑥　提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.2
将来性	⑦　事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	8.0
	⑧　将来的に広く波及効果が期待できる	7.7
費用の妥当性	⑨　予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.2
	⑩　市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.8
合　　計		78.0

《審査内容》
一般部門

事業番号	４	審査区分	交付決定回数０～２回の事業
事 業 名	青少年育成スポーツ奨励事業「集まれ！！JC スポーツ」		
団 体 名	一般社団法人　弘前青年会議所		

【主な意見】
・普段スポーツをできる環境にない子どもたちを対象にスポーツを体験してもらい、その後の受け皿として地域のスポーツマップを作成することも大事だと思うが、普段スポーツをできる環境にない子どもたちがなぜ参加できないのか、子どもが置かれている環境を把握していくことも大事だと思う。そのような子どもたちもスポーツができる環境を作っていくにはどうしたら良いかなど、地域のスポーツクラブ等とも連携を取りながら進めていけるように頑張っていただきたい。
・スポーツマップについては、今後更新作業が必要になるため、今回掲載に手を挙げていただいたスポーツクラブとネットワーク等を築き上げて、運営を進めていただくと、今後にも繋がっていくと思う。

【審査結果】
合計点　73.1 点 ≧60.0 点 ， 各項目の平均点≧3 点　⇒採択（申請額どおり）

審 査 項 目		評価（平均点）
公益性	①　事業の効果が特定の者に限定されない	7.4
	②　社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.7
必要性	③　地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.4
	④　地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.2
実現性	⑤　事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.1
	⑥　提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.4
将来性	⑦　事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	7.2
	⑧　将来的に広く波及効果が期待できる	6.9
費用の妥当性	⑨　予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.5
	⑩　市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.2
合　　計		73.1

令和７年度第１回弘前市まちづくり１％システム審査委員会
会議録概要（２日目）

日　時：令和７年６月１３日（金）
午後６時～８時１０分
場　所：市役所市民防災館３階　防災会議室

１　出席者

審査委員　土井委員長、大倉委員、安田委員、相馬委員、小山内委員、佐藤（信）委員、三村委員、佐藤（綾）委員、工藤委員、一條委員、山木委員

事務局　　土岐課長、山﨑課長補佐、佐藤主幹兼協働推進係長、工藤主査、佐々木主事、吉田主事、山内主事、工藤主事

２　審査方法

１日目同様

３　審査結果

・一般部門　　１６事業中　６事業
　　採択事業　　６事業
　　不採択事業　　０事業
・スタート部門　　１事業中　０事業
　　採択事業　　０事業
　　不採択事業　　０事業

《審査内容》
一般部門

事業番号	１４	審査区分	交付決定回数０～２回の事業
事 業 名	弘前中の子育てママ達集まれ！　子育てサロン　nijiiro coto		
団 体 名	子育てサロン　nijiiro coto		

【主な意見】
・子育て中の方だけではなく、これから子育てをしようという方にもこの活動が伝わるような周知があると、この町で子どもを育ててみたいという希望に繋がると思う。
・他の市民活動団体と連携したイベントが計画されていて、お互いの活動を支え合える内容になっている点が素敵だと思う。市内には様々な子育て支援に関する団体や活動があるので、活動をリスト化されたものやマップみたいなものもあると便利だと思う。
・団体が拠点を持って活動ができれば、「この場所に、この曜日に行くと、必ず何かやっている」、「そこに行けばいてくれる」というような安心感があると思うので、将来的には、拠点を持って常時活動を展開するということも目指して頑張っていただきたい。

【審査結果】
合計点　81.6 点 ≧60.0 点 ，　各項目の平均点≧3 点　⇒採択（申請額どおり）

審 査 項 目		評価（平均点）
公益性	①　事業の効果が特定の者に限定されない	7.8
	②　社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.0
必要性	③　地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.5
	④　地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.4
実現性	⑤　事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.4
	⑥　提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.4
将来性	⑦　事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	8.0
	⑧　将来的に広く波及効果が期待できる	8.0
費用の妥当性	⑨　予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.2
	⑩　市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.0
合　　計		81.6

《審査内容》
一般部門

事業番号	３	審査区分	交付決定回数０～２回の事業
事 業 名	消費者教育講座「親子で楽しく遊ぼう！『きみとタノシーの一日すごろく』」		
団 体 名	Kirschbaum（キルシュバウム）		

【主な意見】
・子どもたちが講座に１回参加しただけで内容を理解するのはなかなか難しいと思うので、事後学習をすることができるような仕掛けや工夫を検討していただきたい。
・ファシリテーションを行うためにはかなりの知識量が必要であるため、中学生が１回学んだだけでファシリテーターをするのは難しいと思う。事業内容を綿密に計画し、中学生が果たす役割を事前に何度も教えるなど、工夫して取り組んでいただきたい。
・一昨年に引き続き、昨年度も周知時期が遅かったために参加人数が少なかったという反省点が挙げられているため、今回はこの点をクリアできるようにスケジュール確認をしっかり行っていただきたい。
・事業を続けていくうちに事業をやることが目的になって行きがちになるので、後輩や次の世代に伝えるときは、事業の目的や目指しているところをしっかり伝えていっていただきたい。

【審査結果】
合計点　72.9 点 ≧60.0 点 ，　各項目の平均点≧3 点　⇒採択（申請額どおり）

審 査 項 目		評価（平均点）
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.3
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.3
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.1
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.9
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.3
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	6.9
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.3
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.6
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.3
合　　計		72.9

《審査内容》
一般部門

事業番号	１１	審査区分	交付決定回数０～２回の事業
事 業 名	世界チャンピオンと一緒に作る！コロコロドミノ工作教室		
団 体 名	こどもあそび実行委員会		

【主な意見】
・団体として初めて事業を開催するということなので、アンケート調査が大事になってくると思う。アンケート調査の結果を拾い上げて、次のステップにつながるように活動していただきたい。
・今回は講師オリジナルの工作キットで 18 組を対象に教室を実施するとのことだが、参加希望者が殺到しそうなので、参加できなかった子どもも学べるように、市販のものでもできる工作を団体の SNS で発信するなど、工夫をしていただきたい。
・イベント開催時に、どのような目的で活動しているのかなどについてのパネルを貼って紹介することで団体のアピールができる場になると思うので、工夫をしていただきたい。

【審査結果】
合計点　75.8 点 ≧60.0 点 ， 各項目の平均点≧3 点　⇒採択（申請額どおり）

審 査 項 目		評価（平均点）
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.3
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.1
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.3
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	7.6
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.6
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.8
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.3
合　　計		75.8

《審査内容》
一般部門

事業番号	１３	審査区分	交付決定回数０～２回の事業
事 業 名	ダンスで弘前を活性化計画		
団 体 名	ひろさき芸術舞踊実行委員会		

【主な意見】
・弘前は「ダンスの街」と称されるまでになったので、今後もダンスを通して県外の方にも足を運んでいただき、弘前の良いところを知っていただきたい。弘前の発展のためにも応援したい。
・イベントの企画や裏方について学ぶための人材育成プログラムは、とても意義のある取り組みだと思う。イベントの運営をただ手伝うだけではなく、参加者が決めたことが実際にイベントや社会に反映されているんだと実感できるようなプログラムを構築していただきたい。なかなか部活に入れない子どもたちにとっても、人間関係を作っていく機会になり、子どもたちの健全な育成に繋がると思うので、応援したい。

【審査結果】
合計点　77.8 点 ≧60.0 点 ， 各項目の平均点 ≧3 点 ⇒採択（申請額どおり）

審 査 項 目		評価（平均点）
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.6
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.6
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.6
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.6
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	7.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.8
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.8
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.6
合 計		77.8

《審査内容》
一般部門

事業番号	９	審査区分	交付決定回数０～２回の事業
事 業 名	第２回けっ晴れ弘前マルシェ～弘大生が作る子どもが主役の外遊び～		
団 体 名	チェンブル		

【主な意見】
・子どもの参加が少ないと寂しいので、声がけを頑張っていただきたい。幼稚園や保育園などに出演やチラシの設置をお願いする際は、メールや電話だけでなく、対面で交渉したり働きかけることで後々も継続して出演していただけたりといった関係性ができていくと思うので、ハードルが高いかもしれないが頑張っていただきたい。
・子どもたちの集客について、児童を対象とした活動を行っているサークルは小学校とのパイプがあると思うので、協力をお願いしてみてはどうか。
・単なるプログラム的なチラシではなく、イベントの目玉をわかりやすく押し出したり、どのような体験ができるのかがよくわかるようなデザインにするなど、チラシを見た子どもたちが「楽しそう、行きたい」と思えるようなインパクトのあるチラシ作りを、みなさんの知恵を絞って挑戦していただきたい。
・チラシを市内全部に配布する他に、子どもが自転車で来ることができそうな会場近隣の小学校に重点的に周知するなど、ポイントを絞った周知も検討していただきたい。

【審査結果】
合計点　72.4 点 ≧60.0 点 ， 各項目の平均点 ≧3 点 ⇒採択（申請額どおり）

審 査 項 目		評価（平均点）
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.2
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.2
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	7.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.4
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.6
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.2
合 計		72.4

《審査内容》
一般部門

事業番号	１０	審査区分	交付決定回数０～２回の事業
事 業 名	めん×メンフェス　2025　秋の陣		
団 体 名	弘前商工会議所青年部		

【主な意見】
・来場者の方々が麺料理をただ単に食べて帰るだけではなく、例えば人気投票を行うなど、会場が一体となって楽しめるようなコンテンツがあると、“弘前には麺がある”、“弘前麺のブランド化”という部分につながっていくと思うので、今後も開催していく中で検討していただきたい。
・来場者にイベントへ参加してもらい交流を促していくということであれば、大食い系のユーチューバー個人対チームで勝負をしたり、カップ麺をチームで積み上げて高さを競うような、老若男女楽しめるゲームを実施するなど、個人競技ではなく、知らない人同士でも交流に結びつくようなプログラムを取り入れていただきたい。

【審査結果】
合計点　74.7 点 ≧60.0 点 ， 各項目の平均点 ≧3 点 ⇒採択（申請額どおり）

審 査 項 目		評価（平均点）
公益性	①　事業の効果が特定の者に限定されない	7.1
	②　社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.1
必要性	③　地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.1
	④　地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.3
実現性	⑤　事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.8
	⑥　提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.2
将来性	⑦　事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	7.5
	⑧　将来的に広く波及効果が期待できる	7.5
費用の妥当性	⑨　予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.8
	⑩　市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.5
合　　計		74.7

令和７年度第１回弘前市まちづくり１％システム審査委員会
会議録概要（３日目）

日　時：令和７年６月１４日（土）
午前９時３０分～１１時４０分
場　所：市役所市民防災館３階　防災会議室

１　出席者

審査委員　土井委員長、安田委員、相馬委員、小山内委員、伊藤委員、佐藤（信）委員、三村委員、工藤委員、一條委員、山木委員

事務局　土岐課長、山﨑課長補佐、廣田総括主幹、佐藤主幹兼協働推進係長、工藤主査、佐々木主事、吉田主事、山内主事

２　審査方法

１日目同様

３　審査結果

・一般部門　１６事業中　５事業
採択事業　５事業
不採択事業　０事業
・スタート部門　１事業中　１事業
採択事業　１事業
不採択事業　０事業

《審査内容》
一般部門

事業番号	６	審査区分	交付決定回数３回以上の事業
事 業 名	十面沢お山の会（お山参詣）		
団 体 名	十面沢お山の会		

【主な意見】

・お山参詣を次の世代へ繋いでいく作業も手がけていただきたい。例えば、まずは記録を残すということを目標にし、準備から当日までの様子を撮影するということも非常に大事だと思う。その後で、SNS を活用した外部への発信など、記録の活用を検討してみるというように、段階を踏んで取り組んで行ければ良いと思う。そのような発信を町内の人が目にすることで、元気づけられていくという側面もあると思うので、少しずつ、残していく、伝えていくための活動にも取り組んでいただきたい。

・団体が内側でできることと、外部の「応援したい」という気持ちによって、活動の広がりを生み出していくということを実現できれば良いと思う。団体ができることとして、例えば地域の小学校へ協力をお願いしてみてはどうか。小学校と繋がりができると、中学校にも繋がりやすいと思う。外部の方については、まずは見に来ていただくことで、ゆくゆくは参加者側になっていただける可能性があると思う。他にも、SNS や撮影スタッフとして協力をお願いするなど、色々な関わり方を用意することで広く支援者を増やしていけると思うので、少しずつでも新しいことに挑戦していただきたい。

【審査結果】

合計点　84.2 点 ≧60.0 点 ，【必要性】【実現性】の各項目の平均点≧3 点 ，
【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≧6 点 ⇒採択（申請額どおり）

審 査 項 目		評価（平均点）
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.2
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.4
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.6
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.6
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.4
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.4
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	8.4
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.4
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.6
合 計		84.2

《審査内容》
一般部門

事業番号	1	審査区分	交付決定回数３回以上の事業
事 業 名	岩木山エコプロジェクト		
団 体 名	岩木山観光協会		

【主な意見】
・活動に参加している子どもたちは、綺麗にしようという意識を持つことができ、ごみを絶対に捨てなくなると思う。ごみの不法投棄とごみ拾いはイタチごっこのようなものであり、ごみを拾う側は「怒り」を感じることもあると思うが、子どもたちはごみを拾うという体験を通して、大きな学びが得られるはずなので、志の高い活動だということを伝えながら是非頑張って続けていただきたい。
・従来の枠組みでは手の打ちようがない部分もあるということなので、もっと大きな力で不法投棄に立ち向かっていかなければいけない段階だとは思うが、解決の糸口が見つかることを期待し、できる範囲内で活動を続けていただきたい。新しい枠組みに関しても、応援していきたい。
・昨年度の活動で、地元企業の参加があったり、学校行事としての参加を小中学校に検討していただいたという点は明るい兆しだと思う。社会貢献の方法を模索している企業が他にもあると思うので、皆さんの活動をさらに広げていっていただきたい。

【審査結果】
合計点　89.4 点 ≧60.0 点 ，【必要性】【実現性】の各項目の平均点≧3 点 ，
【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≧6 点 ⇒採択（申請額どおり）

審 査 項 目		評価（平均点）
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.6
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	9.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	9.2
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	9.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	9.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	9.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	8.6
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.6
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	9.0
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	9.2
合　　計		89.4

《審査内容》

一般部門

事業番号	１５	審査区分	交付決定回数０～２回の事業
事 業 名	NEO 宵宮		
団 体 名	高照神社運営検討委員会		

【主な意見】

・宵宮を行うことで、高照神社の現状の情報を定期的に知ってもらう機会にはなると思うが、日常の場でたくさんお参りに来ていただいたり、奉納をいただく仕掛けをセットで考え、普段の神社の運営がより豊かになるような構想もあったら良いと思う。
・キッチンカーの出店料をいただくなど、僅かずつでも資金面の部分も動いてみると良いと思う。
・地域の方々ではなかなか行うことができなかった働きかけや発信を団体が担っているという点ですごく重要な役割だと思う。地域の方々と連携を取って、良い方向に進んでいってほしい。

【審査結果】

合計点　83.4 点 ≧60.0 点 ， 各項目の平均点≧3 点　⇒採択（申請額どおり）

審 査 項 目		評価（平均点）
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.0
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.4
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.4
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.4
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	8.4
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.4
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.4
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.2
合　　計		83.4

《審査内容》
一般部門

事業番号	１６	審査区分	交付決定回数０～２回の事業
事 業 名	（仮称）環白神・岩木ユネスコエコパーク構想		
団 体 名	津軽百年の森づくり		

【主な意見】
・ユネスコエコパークへの認定を目指すにあたって、実際にエリアで動いていくような方々（例えば、エコツーリズムに関する活動をしている方、自然保護活動をしている方、観光業や飲食業の方など）が一枚岩になり、ユネスコエコパークへの登録を希望して活発な運動を起こしていくことが重要だと思う。そのためには、まずはユネスコエコパークへの登録が関係者にとってどのようなメリットがあるのかということを共有し、関係者が協力していこうという動きを作っていっていただきたい。
・今回開催するフォーラムだけでなく今後も活動を予定しているとのことなので、継続的に色々な方に向けた意識醸成のための活動を行っていただき、団体の活動が多くの市民に伝わっていくことを希望し、応援したい。

【審査結果】
合計点　68.4 点 ≧60.0 点 ， 各項目の平均点≧3 点　⇒採択（申請額どおり）

審 査 項 目		評価（平均点）
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.0
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	6.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.6
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	6.6
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.8
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.0
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.8
合　　計		68.4

《審査内容》
一般部門

事業番号	１２	審査区分	交付決定回数０～２回の事業
事 業 名	ステップから始める大人のためのダンス体験会		
団 体 名	ひろさき芸術舞踊実行委員会		

【主な意見】
・高齢者向けの健康教室はまだまだ「体操」が多く、今回のダンス体験会は、楽しそう、続けやすそうという印象があるので頑張っていただきたい。一方で、ハードルの高さを感じる方もいらっしゃるかもしれないのでないので、自分でもできそう、参加してみたいと思えるような周知になるよう、工夫をしていただきたい。
・参加者が自宅でもダンスを継続できるよう、体験会の様子や講師の先生による振付動画を収録したDVDを後日郵送するということだが、参加者は振付動画だけあれば良いのではないか。振付動画のみのDVDであれば、事前に作成し当日配布することが可能であり、郵送が不要となるので送料も抑えられると思う。
・今回は初心者向けとのことだが、今後事業を継続していく中で、色々なレベルのコンテンツを用意する、YouTubeを活用する、健康づくりサポーターや町会と連携するなど、どんどん取り組むことで、ダンスが定着し、弘前市民の健康年齢が高まっていくと良いと思うので、頑張っていただきたい。

【審査結果】
合計点　76.8点 ≧60.0点 ， 各項目の平均点 ≧3点 ⇒採択（申請額どおり）

審 査 項 目		評価（平均点）
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.4
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.6
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.6
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	7.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.8
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.6
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.2
合　　計		76.8

《審査内容》
スタート部門

事業番号	①
事 業 名	**土手町リバイバル**
団 体 名	HHDR（Hirosaki High School Dotemachi Revival）

【主な意見（チラシ・ポスターの作成について)】

・事業の目的が土手町を活性化したいということなので、ねぷた時期に出店する屋台との差別化を図るため、ただ豆腐団子を販売するということを伝えるのではなく、土手町を元気にしていきたいということが伝わる構成にして欲しい。
・万人向けではなく、高校生向けに作成していただきたい。ガイドブックの寄せ集めであれば魅力がないので、高校生ならではの目線で見た土手町の魅力等を掲載し、さらにその内容を高校生に伝えることで土手町に関心を持ってくれて、活性化につながっていくと思う。

【審査結果】

適　⇒採択（申請額どおり）